

海底地すべり研究の重要性と方向性 New perspective of submarine landslide

阪口 秀^{1*}, 坂口 有人²
Hide Sakaguchi^{1*}, Arito Sakaguchi²

¹ 海洋研究開発機構・地球内部ダイナミクス領域, ² 山口大学理学部
¹IFREE/JAMSTEC, ²Fac. Science, Yamaguchi Univ.

近年、海底ケーブルや着定式プラットフォームなどの海底インフラの保全と地すべり起源の津波防災などの観点から、海底地すべりに対する意識が高まりつつある。しかし、陸上の地すべりと比較して、海底地すべりは現象そのものの観測が困難な上、地すべり前後の海底地形の比較さえ容易ではない。また、地すべりの危険性を評価するための基礎的データとなる海底地盤物性や間隙水圧変動の測定も非常に難しいのが現状である。一方、陸上における地すべりのトリガーについては、一般的に降雨等による地すべり面の間隙水圧の上昇と地震による加速度の増加が考えられているが、常時水没している海底における間隙水圧上昇メカニズムについても良く分かっていないことが多い。そこで、本発表では、海底地すべりについて、これまでに分かっていることを総括し、表層地殻変動と地盤変形という異なる2つの理工学的観点から、海底地すべり研究の重要性と方向性を示す。

キーワード: 海底地すべり, 土質力学, シミュレーション
Keywords: Submarine landslide, Soil mechanics, Simulation